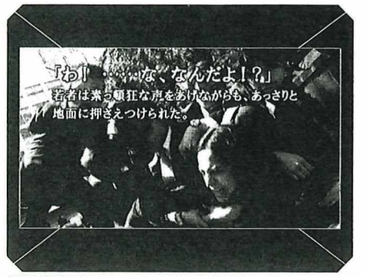
TEXT 01：佐藤　新

428～封鎖された渋谷で～

Wii

12/4発売｜サウンドノベル｜セガ｜7140円｜CERO対象年齢C（15歳以上対象）



©2008 CHUNSOFT

200×年4月28日、渋谷を舞台に起こる事件を複数の人物の行動を通して描く、制作チュンソフト、発売セガによるサウンドノベルシリーズ最新作。それが『428～封鎖された渋谷で～』だ。ゲーム画面には渋谷で撮影された実写映像が使われ、渋谷、複数主人公、実写と、シリーズ第3作『街～運命の交差点～』との共通点が多いが、続編ではない。

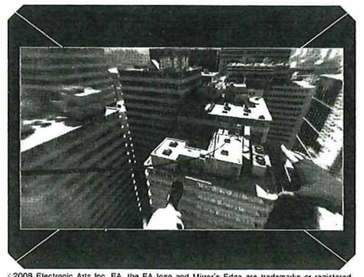
しかし「街」ファンから特に期待を集めている。以下、体験版のプレイリポート。オープニングムービーの後、最初に選択される主人公、加納慎也の物語がスタートする。加納は誘拐事件解決のため、渋谷駅前に張り込んでいる刑事。身代金受け渡しの指定時刻に現場に現れた青年を捕まえるが：バッドエンドへ一直線。回避不能か？　と思っていると「こうならないためには」という説明の後、2人目の主人公、遠藤亜智のシナリオを読めるようになる。亜智の行動の選択次第で加納の運命も変わり、新しい展開へ。その後も案内に沿ってシステムを把握しつつ、2人の視点を行ったり来たりしながらストーリーを進めた。

操作性、文字の読みやすさ、表示テンポや効果音による演出はさすがの域。ぐいぐい物語に引き込まれる。システム面では“ＴＰＰ”がおもしろかった。文章中に青く表示される語句があり、ボタン操作でそのまま知識を読むことができるんだが、「そんなことを解説しなくても」「細か過ぎ」と思わせるものが多く、楽しませてくれる。ちなみに主人公は5人。そのうち2人、しかも序盤をプレイした現時点では、まったく予想できない展開が待っているのだろう。早く続きが読みたい。

ミラーズエッジ

PS3・Xbox 360

12/11発売｜アクション・アドベンチャー｜エレクトロニック・アーツ｜7665円｜CERO対象年齢C（15歳以上対象）



©2008 Electronic Arts Inc. EA, the EA logo and Mirror's Edge are trademarks or registered trademarks of Electronic Arts Inc. in the U.S. and/or other countries. All Rights Reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.

舞台は近未来の某都市。見た目は美しいが、政府機関の厳しい情報統制により、行動や情報すべてが監視されているその都市で、機密文書を手渡しで届ける“ランナーズ”と呼ばれる運び屋。これまでランナーズの存在を黙認してきた政府だが、ある時ランナーズは政府の標的になる。そんな中、ランナーズの一員であるフェイスの双子の妹が無実の罪で捕まり、フェイス自身も狙われることに…。

映画のようなイントロダクションで始まるこのゲームで、プレイヤーはフェイスとなって追手を振り切り、妹を罷にはめた人物と真実を見つけ出さなければならない。そのためにフェイスは、ランナーズとしてのスキルを使って目もくらむような高いビルの屋上を走りぬけ、ビルからビルへと飛び移り、高層ビルの壁の伝い歩きをするなど、アクロバティックな動きをついで都市を走りまわるのだ。これが一人称視点だから、フェイスの見る景色とプレイヤーが画面で見る景色が同じなわけで、たとえば高層ビルからダイブして、向いのビルから突き出たクレーンの先に飛び移ったり、ビルとビルを結んだワイヤーを伝って移動するアクション（写真）の時などは、あまりの臨場感にお尻がキューッと縮むような緊張と恐怖に襲われ、画面の前で思わず叫んでしまうほど。手すりや壁など、アクションの手がかりになる場所は赤や黄色に色づけされているので、そこを使ってうまく移動するのがゲームのキモ。ただ、進むべきルートの見当がついてもそこへ移動する勇気がないと先へは進めないわけで、ある意味自分との闘いなゲームです。

※もっと!! ゲーム手帳

気軽に始めて ガチになる この手軽さでこの深み

『カルドセプトDS』（ニンテンドーDS／セガ／5040円）

“モノポリー”などのボードゲーム と、“マジック：ザ・ギャザリング”などのトレーディングカードゲーム。双方の魅力と面白さの相乗効果を実現したトレカ・ボードゲームの最新作。'00年発売のPS版をベースに、新規カードを追加しバランスを再調整。マニュアル も充実し、初心者にも安心だ。

ダイスの目に応じてコマを進め、領地にクリーチャーを召喚して配置。ライバルが来たらアイテムやスペルを駆使したクリーチャー同士による戦闘で勝負する。マップを周回しながら魔力を目標値まで集め、いちばやくゴールすることが目的だ。自分のターンでカードを1枚引き、最大6枚の手札で戦略を組み立てていく。370種類以上あるカードの中から50枚を選んでブックを組むというカスタマイズ性が、ハマるともう抜け出せない！　どんなカード配分で組めば勝てるのか？　土地の属性、相性や支援効果や連鎖をどう攻略しようか……？　強いクリーチャーを組むだけで勝てるといった必勝パターンは存在せず。どんな弱くても、アイテムカードや支援によって充分にライバルに勝ちうるバランスが絶妙だ。複雑そうな印象は否めないが、ルールは明快。コアゲーマーだけのお楽しみにしておくのはもったいない。ＷＩＦＩやワイヤレス通信での対人戦も充実しており、従来ファンも新たな楽しみが開拓できるはず。〈Ｙ〉

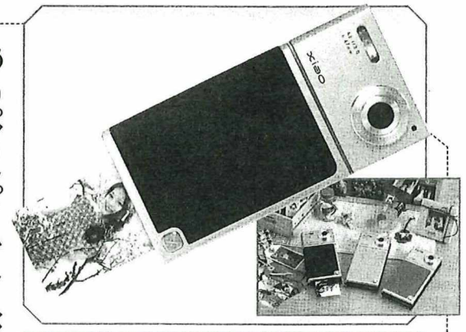
TEXT：西原ダイゴ

やっぱりプリントしなきゃカメラは楽しくないよね

近頃は、女性がコンパクトデジカメを常備しているのは当たり前みたいになっている。手軽だし、フィルム代も現像代もかからないというのは、デジカメの魅力のひとつなんだが、反面プリントした写真を最近見ていないって人も案外多いんじゃないだろうか。そんな中登場した『シャオ』は、かなり画期的なデジカメだ。コンパクトサイズながら、なんとプリンターと一体型。「ｘｉａｏ ＺＩＮＫフォトペーパー」という、インクが不要の特殊な印刷用紙を使うことによって、撮影したそばからプリントアウトできてしまう、インスタントカメラ感覚のデジカメなのだ。

一応スペックを書いておくと、有効画素数500万画素のＣＭＯＳイメージセンサー搭載で4倍のデジタルズーム付き。まあ、最近のデジカメとしては決して高性能とは言えない。だがしかし、その場ですぐプリントできるという機能はかなり強力。例えば、友だち同士集まった時、みんなでパシャリ。「シャオ」ならば、後から撮影したデータをメールしたりＣＤロムに焼いて渡すなんてことをせずとも、その場で人数分プリントして渡せてしまうのだ。ＣＤロムなんかで渡されるよりそっちの方がずっと楽しげでなんである。さらに、プリントの楽しさをアップさせるための機能はかなり充実している。1枚の用紙を最大で64分割し、同じ画像を印刷できるマルチを使えば、小さな写真をみんなで分けることも可能。画像を白黒やモザイクに加工するエフェクト機能や、いろいろなタイプのフレームも用意されているので撮った写真をさらに楽しいものにできてしまうのだ。もちろん用紙はシールになっているので、その感覚はまさに持ち運べる『プリクラ』だ。

人と集まる機会が増える年末年始のこの時期。『シャオ』が大活躍してくれるのは間違いないはず。特に女性の方は、このプリントできるデジカメはかなり気になる存在なんじゃないだろうか。



シャオ

☆撮った写真をその場で印刷できるプリンター搭載デジカメ。●34800円（税込）●専用（別売り）の“xiao ZINK フォトペーパー”使用（20枚入り／880円）●ブラック、マゼンダ、グリーンの全３色●株式会社タカラトミー

http://www.takaratomy.co.jp/products/xiao/index.html

TEXT／西原ダイゴ

美味いか不味いかはよく解らないがスゴいことは間違いない

独特の画風のせいか、はたまたエキセントリックなキャラクターのせいか、能條作品にはヤバい雰囲気がプンプンなんだが、最新作はなんと“ラーメン”なんである。えっ、グルメマンガって…？なんて思ったんだけどね、読んでみたらちゃんと能條節がちりばめられていて、妙な味わいの異色作としてかなり楽しめてしまうのだ。

主人公は、神のごときラーメンの天才・榊原麺太。彼は、いきなり店に入ってきてラーメンを喰らっては「まずいが：最後の一滴まで変わらぬますが痛快だ!!　名付けて痛快ラーメン」などと言い放つ、なんだかよくわからないがオオっかっこいいぞ～と思わせる快男児だ。そして、作品の方もこの主人公・麺太同様、よくわからない迫力とスピード感に満ちているのである。なんてったって、ほとんどの台詞の最後には“!!”付き。キャラクターの表情もやけに大げさで、「ラーメン…湯斬り…命!!」なんて、キメキメのコマもバンバンだ。もう底抜けに突き抜けているような感じがして、意味なんかわからなくても全然盛り上がれてしまうのである。

しかしだ、そんな突き抜けたパワーの隙間に見え隠れする、決して明るくない違和感は何だろう？ラーメンを食べている人の、陶酔しり切った虚ろな表情、品の無さを絵に描いたような、脂ぎったオッサン。突然ルーペを取り出して、麺をじっくり観察するみたいな常軌を逸した行動に出るオバさん。そして、リアルにエロい色白のむっちりフトモモ。そもそも、能條漫画に欠かせない“天才に魅入られる普通の人々”っていうモチーフが、なんか怪しい宗教みたいでちょっと怖いのだ。美味しいんだけどなんか変な混ぜ物がしてありそうで怖い。でもやめられない。そんなヤバい味わいが能條の魅力。そんな味わいを麺太のラーメンと共に味わってみてはいかがだろう。

©能條純一／集英社『ビジネスジャンプ』連載中

『ばりごく麺』（1巻発売中）

（能條純一／集英社『ビジネスジャンプ』で連載中　540円）

Masterpiece!

『虹色ラーメン』（全18巻）

（馬場民雄／秋田書店）

ラーメンで泣けるマンガと言えばこれ。生まれて初めてラーメンを食べた少年が、友人たちと共にその美味しさを追求する道を突き進む。ライバルたちと火花を散らすラーメンバトルはかなりテンション高め。一方で、主人公の溢れる情熱や友情等々、１杯のラーメンに込められた物語は爽やかでジワッとくる。

New Release

『打撃女医サオリ』（1）　12／5発売

（矢上裕／角川書店「コミックチャージ」で連載中　609円）

クールビューティーなメガネ女医が金属バットで、病んだ人々をフルスイング！　金属バットで患者を殴る“打撃療法”で結石からひきこもり、果ては壊れたテレビまで何でも治してしまう女医・坂上沙織が巻き起こす騒動を描いたコメディだ。ただバットで殴るだけなのに、すごくイイ感じでオトナすストーリーは抜群。

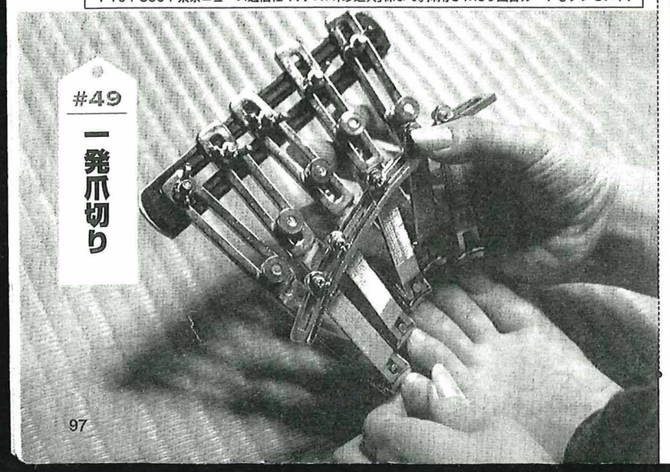
一発逆転！珍道具

●日本珍道具学会会長　川上賢司

もっと簡単に足の爪切りができるようにならないかな？

どんな不精な人でも、手の指の爪は切っているだろう。ところが、どうして足の指の爪はあんなに切りにくいのか。ということで考えたのが、この爪切り。角度と長さを調節してネジで固定。あとはレバーを押し下げれば、5本の指の爪が一発で切れるというスグレモノ。ただ、5個の刃を爪の位置に合わせるのに相当の時間がかかってしまうのが難点だ。

chindogu@hotmail.co.jp にあなたの珍道具アイデアを！
優秀なアイデアは珍道具学会で実際に作品にして、このコーナーで発表します。ハガキで応募する場合は、〒104-8004 東京ニュース通信社 TVブロス「珍道具」係まで。採用されたら図書カードをプレゼント！



#49 一発爪切り

元気いっぱい！ブルドッグのおめかし

うつむき加減で街を歩く人が多い中、色々な意味（あくまでも色々な意味でね）で元気さが伝わってくる画像を紹介！

タイトル・イラスト　JUMBOT
●作家・写真家　やきそばかおる

▲葛飾のＴさんから元気よく届いた写真。よく見ると生え際あたりを含めて愛用鉄也版。

国民的人気キャラが元気よくコラボ

噂ではあのキャラも意外な要素が合わさってできたものらしい。噂だけど。
●ドラえもん×ドラリオン＋肉体の門
●エスパー魔美×エスパー伊東＋女
●トランプマン×スケベトランプ＋男
●おぼっちゃまくん×お坊さん＋小森のおばちゃま＋サンプラザ中野くん
●おでんくん×おでかけ＋でんでん＋サンプラザ中野くん

やきそばかおる●「コンセントアート」のブログを始めました。全然関係ないけど、誰か『学べる!!ニュースショー！』に出ている土田さんに役割を与えてあげてください。

◎カラ元気な写真募集中！◎
街で見かけたカラ元気な写真を編集部まで送ってね。住所・氏名を書いて、karagenki@tokyonews.co.jpまで。